我ら，国体盛りあげ隊！

国体に向けた取り組みなどを紹介するコーナー。その名も

いきいき茨城ゆめ国体 県西地区200日前イベント
～みんなdeスポーツinイオンモール下妻～

◆8市合同で国体競技体験

3月16日(土)・17日(日)、イオンモール下妻において茨城国体開催200日前イベントが開催されました。県西地区8市（下妻・古河・結城・常総・守谷・筑西・坂東・桜川）が合同で各市開催競技を、体験ブースやパネル展示で紹介。他にも、いばラッキーの缶バッジ作り・フェイスペイントなどを行い、来場者からは、「さまざまな競技を体験できて楽しかった。子どもたちが関心を示していたので、会場にも足を運んでみたい」とのお話や「45年ぶりの茨城国体はめったにない機会。全国レベルの試合を地元で見られるチャンスなので、ぜひ応援しに行ってみたいと思う。下妻市の盛り上がりも期待したい」との声が聞けました。

いきいき茨城ゆめ国体下妻市実行委員会では、今年開催される茨城国体を通してスポーツに対する意欲や関心を高めるとともに、スポーツに参加するきっかけづくりを推進していきます。

お知らせ－ボランティア登録ありがとうございました！－

◆登録者数約200人

下妻市でのいきいき茨城ゆめ国体ボランティア募集が3月31日をもって締め切りとなりました。約200人（団体申込み含む）の登録をいただき、市民の皆さまのご協力に心から感謝いたします。

地域やボランティアの支えがなければ競技会を運営することはできません。会場では選手を応援すると同時に、縁の下の力持ちとして大会を支えるスタッフの方々にも、ぜひ目を向けてみてください。

〝しもつまの力〟で国体を盛り上げましょう！

いきいき茨城ゆめ国体2019
第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

開催まで…
（4月1日現在）

180日

下妻市は、ソフトボール（少年男女※高校生）とEボートの開催地です。

生涯学習課国体推進室 ☎45-8100 FAX43-3519

＼子どもたちの未来を守るために／STOP!子ども虐待

4/1施行 茨城県子どもを虐待から守る条例

子どもに対する虐待が、深刻かつ重大な問題となっています。

児童相談所における虐待相談対応件数は年々増加しており、茨城県でも平成29年度は2,256件と過去最多となりました。また、全国的にも、虐待により子どもの尊い命が失われる事件が後を絶ちません。

茨城県では、県議会の議員提案により制定された「茨城県子どもを虐待から守る条例」が平成31年4月1日に施行されます。この条例では、行政や県民の皆さん、関係機関などが一体となって、児童虐待防止対策を推進することとされています。

問 子育て支援課 ☎45－8120 FAX 30－0011

■虐待ってどんなことをいうの？

身体的虐待
殴る、蹴る、たたく、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど

心理的虐待
言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス:DV)など

性的虐待
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト(養育の怠慢・拒否)
家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

■条例のポイント

基本理念
何人も、虐待を決して行ってはならず、また、許してはならない

保護者の責務・対応
- 子育てについての責任を深く自覚する
- 体罰および虐待を行わないよう、子育てについての正しい理解を深める
- 子どもの安全確認に協力する

県民の責務
- 虐待を受けたと思われる子どもたちを発見した場合は、速やかに児童相談所などに通告する

県の主な具体策
- 虐待の予防、早期発見、早期対応
- 子どもへの支援、保護者を孤立させない社会づくり
- 児童相談所の体制強化、虐待対応に係る人材の確保・育成

本県独自の規定
- 児童相談所が把握した全ての児童虐待事案を警察に情報提供
- 支援をしている家庭の転出・転入などの場合における適切な引き継ぎ
- 児童福祉司などの国基準を超える人数の配置などによる児童相談所の体制強化

■気になるとき、困ったときは…

虐待が疑われるときや子育てについて悩んだときは、市役所子育て支援課や最寄りの児童相談所にご相談ください。ご相談・ご連絡の秘密は守られます。

○筑西児童相談所☎0296(24)1614

児童相談所全国共通3桁ダイヤル 189（いちはやく）
お近くの児童相談所につながる短縮ダイアルもご利用ください

また、妊娠や出産の悩みについての専門相談窓口もあります。
○すこやか妊娠ほっとライン
☎029(301)1124

有料広告欄